

金融広報アドバイザーとは、金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

## 金融広報 アドバイザーの 紹介

# 難しい金融の知識を分かりやすく 伝える講演を心がけています

証券会社勤務時代に培った豊富な金融知識を武器に、金融経済に関する情報提供および学習支援活動を行っている石森久雄さん。東京都の金融広報アドバイザーとしてだけでなく、全国で金融のプロとして活躍しています。

\* \* \* \* \*

石森さんは証券会社に在職中に、投資信託に関する自著を出版し、各地で講演会の講師を務めるなど、金融のプロとして、金融知識を一般に広める活動をしていました。退職後は、執筆と講演活動に力を注ぎ、多い年には延べ180カ所以上で講演活動を行っています。

2002年からは、東京都の金融広報アドバイザーとなり、中学生から大学生の若い世代をはじめ、幅広い年齢層の社会人を対象にした講演を担当。特に、5年前から月に一度、都下の刑務所で仮出所前の受刑者を



58歳まで勤務した証券会社を退職後、日本証券業協会の講師やNPO法人「エイプロシス」のボランティア講師として活躍する一方、放送大学の講師や金融広報アドバイザーとして金融知識の普及に貢献。ほかに1級ファイナンシャルプランナー（CFP）や証券カウンセラーとして、数々の執筆・講演活動を行っている。長年の功績が認められ、金融庁と日本銀行より「平成21年度金融知識普及功績者表彰」を受ける。

対象に、出所後に役に立つ預貯金や健康保険、年金についての講演活動をしている点は、アドバイザー活動の中でも大きな特徴です。また、日本大学商学部で春の特別集中講義の講師を担当。「国際金融

の特徴と役割」をテーマに、目まぐるしく変化する国際経済について毎年タイムリーな講義を行っています。その内容が評判を呼び、一回の講義に200人以上の学生が集まる人気講座になっているそうです。大学には、石森さんが参考書を執筆している「証券外務員」を目指す学生が多く、目標の職業で活躍した先輩として、アドバイザーや指導を求められるなど、石森さんの存在が良い刺激になっているようです。石森さんがどのような講演の対象者に対しても常に心がけているのは、「やさしく分かりやすい」ということです。受講者アンケートで「よく分

かった」「分かりやすかった」という評価が最も嬉しいという石森さん。「難しかった」というコメントを参考に「難しい」という言葉を参考にして改善点を考え、講義の内容をブラッシュアップし続けています。「金融業界は、とかく専門用語を使いがちですが、それを初心者の人にも分かりやすく伝え、理解してもらうことがプロの仕事です。貴重な時間を割いて講演を聞きに来られた方々に、『聞いて良かった』と思ってもらえる講座にしたいですね」と石森さん。今後は金融のプロとして「自分の老後は自分で作り守っていく大切さ」を伝えることも重要なテーマにしていきたいと考えているそうです。「多くの方が、正しい金融知識を身につけたうえで資産運用を行い、もっと日本経済の活性化が進むとよいと思っています」と石森さんは話しています。

東京都金融広報委員会  
金融広報アドバイザー

# 石森久雄